

令和6年第6回 幸手市教育委員会定例会会議録						
招 集 期 日		令和6年6月18日（火）午前9時30分				
開 会 場 所		幸手市役所第二庁舎 2階 第1会議室A				
開会の日時・宣告者		令和6年6月18日（火）午前9時30分			山 西 実	
閉会の日時・宣告者		令和6年6月18日（火）午前11時37分			山 西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出 席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出 席
	職務代理者	会 田 研 司	出 席	教 育 委 員	古 沢 万 友 実	出 席
	教 育 委 員	高 島 勝 也	出 席	教 育 委 員	林 晴 実	出 席
傍聴人：0人				書 記：関 口 智 章		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名		氏 名	
	教 育 部 長	仙 田 茂 雄				
	教育総務課長	大 竹 孝 典				
	学校教育課長	中 沢 朋 宏				
	社会教育課長	松 阪 隆 一				

会 議 事 件 名	顛 末
開 会 午前 9 時 30 分	教育長 開会を宣する。
日程第 1 前回会議録の承認	教育長 令和 6 年第 5 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。
日程第 2 協議事項 今後のインクルーシブ教育のあり方について	学校教育課長 資料により説明する。 《質疑》 藤沼委員 インクルーシブとノーマライゼーションの社会共存には連携が必須になってくる。インクルーシブ教育は人生 80 年のうちごく短い期間。欧米は障がい者の勤労率が高い一方、日本では小中学校で細かいところに手が届く教育をしているが、その後の社会的自立に大きな課題がある。 幸手市教育大綱には特別支援教育の充実という項目がある。就学前の障がい児は福祉部局で見ているが、自分の子に障がいがあるのでは、と親が不安を感じる時期は 2 歳ぐらいだと思う。幸手市の福祉部局では 4 ～ 5 か月、10 か月、1 歳 6 か月、3 歳 5 か月健診を実施しているが、2 歳の健診はないのはなぜなのか。健診で障がいがあると気づいた場合の民間の養育施設のようなものはあるのか。 また、小学校に就学する際、普通学級にするのか特別支援学校にするのかという決定権は誰が持っているのか。 学校教育課長 各年齢の健診で子の様子が気になる場合、学校教育課が相談窓口になり、「こういう施設がある」と紹介するな

	どして、保護者が孤立しないようサポートしている。いわゆる 2 歳の壁のような問題の解決に直結するものではないが、何歳でも就学相談を受け付けている。 また、本市に民間養育施設があるかについては把握していないが、近隣自治体の施設に通わせている現状である。就学先の決定権については、就学相談を通じて子どもにとって最も良い選択となるよう促し、最終的には保護者に決定していただいている。近隣の自治体でも施設があるところはあるので、保護者が育てるだけでなく、そういった施設等も活用しながら、その子の良い成長に活用していただけると感じている。 教育長 放課後デイサービスは市内にあり、学校に迎えに来て、保護者が施設に迎えに行くという流れがある。 また、市の保育所の中で、特別支援に重点を置いているところもある。 藤沼委員 障がいがあっても、特定の分野で伸び代のある子はいる。 子どもの能力を見極め、伸ばしてあげるのは保護者だけの力では難しいと思う。 また、両親、特に母親は他人の子どもと比較してしまいがちで、そうすると孤立してしまう恐れがあるので、心の支援が大事だと思う。スマホなどのネットワークを活用した支援に、行政がどこまでかかわっていけるかは課題である。 高島委員 社会との関わりということで、憲法 14 条では、全ての国民の平等権を掲げている。障がい者も同じで、教育の中で障がいのある子を一生懸命見てあげても、社会に出たらその部分が全部飛んでしまったら意味がない。 ただ、社会的な動きとしては令和 6 年 4 月に障害者差別解消法が改正され、事業所による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化された。 社会の理解が深まってきつつあるが、教員でも一般の方であっても、本当のところをどこまで理解しているかといったら非常に難しい。インクルーシブの考え方を身につけていかないと、なかなか浸透していかないと思っ
--	--

ている。

今回の法改正を受けて学校では、前例がない、特別扱いできない、何かあったらいけない、という考え方は正していかなければならず、学校でも教育行政でも様々な取組があるが、その根底となる考え方も含めて取り組んでいかなければならない。

林委員

2歳ぐらいだと、遅れているだけと親が認めないことがあり、3歳ぐらいでようやく否定できないものを感じるようになる。近隣の施設では放課後デイサービスに力を入れていて、そこに入るべきかどうかと悩んでいる方に証明書を出して、それをもって入るということがある。

しかしながら、学校に入る前の子どもに対するフォローは弱いと感じることはある。

古沢委員

周りがお膳立てして、お互いが高め合っていける、ただいるだけでなく一緒に過ごせる環境を作ることが大事。小学校の特別支援学級に携わったことがあるが、それぞれの個性やニーズ、目指すものは色々ある。特別支援学校との交流で、ベテランの先生に相談する機会があって、課題を解決したことがあった。特別支援学級と特別支援学校の違いを感じ、養育のプロからサポートしてもらえる環境があると先生方も授業に集中できると感じた。幸手市でも保育所訪問事業を導入していると思うが、活用されているのだろうか。

学校教育課長

幼保小の連携は、会議がメインになっている。気になる子がいるという情報があれば、第2保育所へ行って、様子を見て話を聞きながら対応を検討するということもある。また、特別支援学校の先生は専門的な情報を持っているので、校内で課題になるようなことがあれば話を聞いてもらう機会を設けたことで一定の成果が見られたこともある。また、対応方法を知ること、それを周りの教員に広げられるという良さもあるので、活用していく必要があると考えている。

古沢委員

学校の授業を放課後デイサービスの職員が見に来るような機会はあるのか。

	学校教育課長 そういう機会はある。実際に子どもたちの生活の様子を見てもらい、情報共有して、どうすればその子にとってよりよい環境を作っていけるのか共通理解を深めることができている。 古沢委員 放課後デイサービスの職員が学校での様子を見て、それを保護者に伝えることで安心に繋がると思う。 教育長 特別支援学級というとは以前は一つの学級だったが、現在はどのようになっているのか。 学校教育課長 障がいの種類によって4種の特別支援学級が編制されている。普通学級と交流し、関わりを持ちながら生活している。 高島委員 発達障害を教員が理解できない時代もあった。スクールカウンセラーと一緒に教室を回って様子を見ていた。 会田職務代理者 普通学級、特別支援学級、特別支援学校のシステムはいいシステムだと思うが、保護者の決定次第のところがある。どこの学校がよいと言うことはできないものの、今は選択肢が増え、子どもにあった学校へ行けるようになってきた。子どもに合った進学先を決めるということが大事。 特別支援の子どもに合った学習では、必ずしもピッタリの答えじゃなくてもいい。そういう授業を保護者に見てもらうことが大事。見学会を定期的に開催し、保護者に実態を見てもらう。 また、通常学級にも支援が必要な子がいるはず。小学校から中学校へ進学する際に、就学支援委員会の判断が示されるが、通常学級に入ってしまうと、途中で特別支援学級に行くことは難しい。そういう子のためにも、専門家のアドバイスを学校が受けられるといいと思うが、そういうシステムはあるのか。 学校教育課長 年度途中での変更は非常に難しいところはあるが、子どもや保護者が困っているようなときは、移行期間を設
--	--

日程第 3 議 事 議案第 15 号 東中学校区再編準備 委員会委員の委嘱に ついて 議案第 16 号 上高野小学校・さかえ 小学校統合準備委員 会委員の委嘱につい て幸手市就学支援委 員会委員の委嘱につ いて	けて様子を見て、場合によっては年度替わりの際に正式にクラスを替わるということはある。 専門家への相談については、小中学校いずれもスクールカウンセラーに見てもらうことはある。情報共有をしながらアドバイスを受け、教員や保護者にフィードバックをし、移行に役立てることもある。 会田職務代理者 年度途中で特別支援学校に行くことは難しいと思うが、年度替わりであれば移行は可能なはず。学校や保護者が子どもの障がいに向き合って、一番いい就学先を選んでいければいいと思う。 高島委員 いわゆる教職員定数法によって教員の配置数が決められており、特別支援学級も同じなので急な変更というのは難しい。 教育長 以前、1 人のために特別支援学級の教員を配置したが、親の都合で引っ越してしまい、教員が浮いてしまうことがあった。学級数や子どもの数によって教員の定数が変わってくることもあるので難しい。 教育長 議案第 15 号及び議案第 16 号は関連があることから、一括議題とする。 教育総務課長 議案書により説明する。 ≪質疑≫ 藤沼委員 準備委員会委員に立候補された人は何人いたのか。 教育総務課長 学校や区長に推薦をお願いしたので、立候補者数は把握していない。 林委員 石川県珠洲市の宝立小中学校で災害医療に携わった際、避難所の中心となっていた方が宝立小中学校の初代
---	---

1 教育長報告	教育長 1 各種教育長会議等 2 人事評価に係る校長面談 教育部長 令和6年第2回幸手市議会定例会一般質問（教育委員会部分）について資料により説明する。
2 事務局からの 主要な報告	教育総務課長 1 学校再編について 学校教育課長 1 校長候補者選考及び教頭候補者選考に係る受験予定者数について 2 今後の主な行事 3 教科書関係 社会教育課長 1 幸手市学校体育施設開放運営委員会 2 ランチタイムコンサート 3 第31回さくらマラソン大会実行委員会 4 第1回幸手市社会教育委員会議 5 幸手市市民スポーツ大会実行委員会 6 埼玉葛人権教育推進協議会総会 社会教育課長（公民館） 1 利用状況 2 事業報告 3 今後の事業予定 社会教育課長（郷土資料館） 1 報告事項 2 今後の事業予定 社会教育課長（図書館） 1 報告事項 2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位5冊） 社会教育課長（体育施設） 1 利用状況 2 自主事業 3 今後の自主事業

	について資料により説明する。 《質疑》 会田職務代理者 幸手市武道館のエアコン設置に関する請願が否決された理由は何か。 教育部長 小中学校の体育館に空調を設置することへの影響を懸念したものと認識している。学校が優先であると。熱中症警戒アラートが発令されるようなことがあれば、そもそも武道館を使わないという選択肢もある。 会田職務代理者 剣道をやっていた身としては、武道場にもエアコンは欲しいと思う。暑い中でやるスポーツではないし、設置していく順番も理解できる。長い目で見れば設置は必要と考えている。 教育部長 電源の容量や屋根・壁の断熱など、改修をする際にやるべきことはたくさんある。決して設置しないという訳ではない。 藤沼委員 エアコンは、大小いづれにせよ電気を使う。災害時にエアコンを使いたくても、電気がストップしては使えない。インフラ整備も含め、代替の電源の計画も必要である。 教育部長 小泉議員からの質問にもあり、市民生活部長が答弁していたが、全校に今すぐ設置することは難しい。今年度、上高野小学校と東中学校の体育館工事の設計を行うとともに、電源方式を電気にするかガスにするかも検討していく。 藤沼委員 ランチタイムコンサートの演者は、公募してもなかなか見つからず市内の団体に声をかけることがあると聞いている。市外の団体でもいいと思うし、吹奏楽前提ではなく、アンサンブルでもいいと思う。 また、幸手中学校のポップはすごくいい物ができたと思う。読書のモチベーションアップにつながる。今後は、幸手駅のガラスケース内に展示するなど、図書館まで行
--	--

	かなくても子どもたちが作ったものを目にする機会を作 ってほしい。 社会教育課長 ランチタイムコンサートは、応募状況を見て市外も検 討する。 また、ウエルス幸手は昼休みも窓口業務を行っており、 大きい音量での演奏は難しい。 高島委員 アンサンブルは小さい音量・小規模でも可能。 古沢委員 アスカル幸手のアウトリーチ事業で、潮田さんの公演 は刺激になったと思う。子どもたちの活躍を期待してい る。 また、別の件であるが、久喜市では不審者情報がメール で保護者に送られてくると聞いている。幸手市はどのよ うな状況か。 学校教育課 不審者情報の提供の話は今のところない。アンテナを 高くし、広く情報提供していくよう検討する。
日程第 5 その他 1 次回以降の会議 日程	各委員の意見を調整した結果、次回以降の会議につい て、次のとおり決定する。 (1) 令和 6 年第 3 回教育委員会臨時会 日時 令和 6 年 7 月 9 日（火） 午前 9 時 30 分 場所 幸手市役所第二庁舎 2 階 第 1 会議室 (2) 令和 6 年第 7 回教育委員会定例会 日時 令和 6 年 7 月 23 日（火） 午前 9 時 30 分 会場 幸手市役所本庁舎 3 階 第 1 委員会室
2 次回の協議事項	教育総務課長 協議の結果、「春日部市立江戸川小中学校の学校運営に

3 その他 閉 会 午前 11 時 37 分	ついて」 とする。 なし 教育長 閉会を宣す。
--	--

ほ か 特 に 重 要 と 認 め る 事 項	な し
	上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和6年7月23日 教 育 長 山 西 実 署名 署 名 委 員 藤 沼 寛 次